



広島県の中山間地域に建つ公営住宅の建て替えである。高齢者が孤立せずコミュニティとつながると同時に、都市部の子育て世帯が、自然と共存するこの地域ならではの豊かな暮らしを感じられる計画が求められた。2つの住棟と隣地の既存建物によってコの字型に中庭を囲い、この中庭が交差点に開かれる事によって、居住者が地域に見守られると同時に、地域にパブリックスペースを提供している。また、不整形な敷地形状に沿って住戸を雁行させながら配置することによって、全ての住戸から美しい田園風景を眺めることができ、川や山からの涼風を受け止めることができる。

The public housing is consisting of 2 buildings, which enclose courtyard with existing neighbor buildings. The courtyard facing crossroad provides open space to the community. Also community provide the care of the elderly and children in this public housing. The arrangement of housing block along with irregular outline of site creates variety of view to the landscape.







